

Living the Lotus

10
2022

VOL. 205

Buddhism in Everyday Life

開祖随感

毎日の生活を整える行

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus
2022年10月号 (Vol.205)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international
@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 赤川恵一

編集チーフ: ジグジドホルロ・ゲレルトヤー

校閲者: 小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

信仰者は、まず毎日ご宝前での朝夕のお勤めができるようになる。そして、ご命日に教会に参拝し、法座にすわらせてもらう。そこで仏さまの教えに自分を合わせていこうと努力するようになると、生活のすべてが「行」になっていきます。行とは、行動のことです。毎日の生活の中での自分の行動を、一つずつ仏さまの教えに照らし合わせて整えていけるようになるのが、在家仏教徒の行といえましょう。

知識を学んだだけで仏教が分かったつもりになるのは、たとえば、ゴルフ上達法の本を読んだだけでゴルフができるつもりになったり、教則本を読んだだけで、楽器の演奏ができるつもりになったりするようなものです。まさか、そんなことを考える人はいないと思いますが、仏教の修行も同じです。

宗教は知識を学ぶものではなく、生き方を身につけるためのものです。教えを学んだら、そのとおりに実行してわが身に体していく。繰り返し実行して、教えをしっかりと身につけていく。その修行を見守る人が近くにいてくれると、それが容易にできていくのです。サンガの仲間がいることで修行が本物になっていくのですね。

(『開祖随感』10, P. 250-251)

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life (法華経を生きる～生活の中の仏教) というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

苦悩を生むもとを知る ——智慧①

立正佼成会会長 庭野日鏡



仏さまの智慧をいただく

「遊んでいるときには／せまいせまいというて／遊んでいる／朝会あさかいのときに石ひろを拾ひろわされると／広い広いというて／拾せつちようている」。拙著『心田を耕す』でもご紹介した「運動場」という詩ですが、六波羅蜜ろくはらみつの「智慧ちえ」とは何かを考えるうえで、小学四年生が書いたこの詩は、すべての人に通じる大切なことを教えています。その意味で、まずは頭の隅にとどめておいていただければと思います。

仏教の「智慧」は、「無常むじょうの道理どうりを洞察とうさつする強靱きやうじんな認識しんしの力」(『岩波 仏教辞典』岩波書店)とか、「空くうなど仏教の真理しんりに即すくして、正しく物事を認識し判断する能力」「六波羅蜜の一つ。般若はんにゃ」(『大辞林』三省堂)などと説明されます。縮めていえば、「智慧」とは「無常むじょうや空くうの真理しんりを認識する力」や「道理どうりや筋道すぢみちをわきまえ、正しく判断する心のはたらき」ということのようなのですが、このいかにも難しそうな「智慧」という言葉を、私たちは、サンガ(同信の仲間)と交わす会話のなかでもときどき使っています。

つらい悩みを親身になって聞いてくれた人から、「仏さまの智慧をいただけるように精進しやうじんしましょうね」と励まされたり、「仏さまの智慧ちやうだいを頂戴ちやうだいすれば救われますよ」と勇気づけられたりしたことが、だれでもあるでしょう。

ただ、そもそも「智慧」というものは、仏さまからいただいたり、頂戴したりするものなのではないでしょうか。

釈尊しやくそんが悟られた真理を認識し、その真理にもとづいてものごとを判断するという意味では、釈尊への尊敬と感謝の念をこめて、仏さまから「智慧をいただく」といえないわけではないと思います。しかし実際には、釈尊しやくそんが授けてくださるものではなくて、「自分の

なかに、真理を認識して判断する力——智慧がある」と気づき、その「智慧」を日々の生活の折々にはたらかせることが、仏弟子である私たちが「智慧をいただく」ということにほかなりません。

執着をコントロールする

ところで、仏教ではなぜ「智慧」が大切というのでしょうか。釈尊のお言葉を集めたスッタニパータ(経集)の、次の偈を見ると、「智慧」の大切さが少しわかってきます。

「欲望をかなえたいと望んでいる人が、もしうまくゆくならば、かれは実に人間の欲するものを得て、心に喜ぶ」。ところが、「欲望をかなえたいと望み貪欲の生じた人が、もしも欲望をはたすことができなくなるならば、かれは、矢に射られたかのように、悩み苦しむ」。つまり、「世の中にある種々様々な苦しみは、執着を縁として生起する」(以上、『ブッダのことば』中村元訳／岩波文庫)というのです。

ですから、欲望や執着をコントロールする「智慧」がはたらけば、苦悩は自ずと遠ざかるというわけです。冒頭の詩を思い出してみてください。確かに私たちには、同じ運動場でも「遊んでいるときには／せまいせまい」と文句をいい、「石を拾わされると／広い広い」と愚痴をこぼすような、「自分の思いどおりにしたい」というわがままな心があって、それが苦しみや悩みを生むもとになっています。

そこで釈尊は、欲望や執着をコントロールする「智慧」を身につけるヒントも残されました。「自我に固執する見解をうち破って、世界を空なりと観ぜよ」というのです。

ただ、「空」というと、またいっそう難しい印象があります。したがって、「空」については次号でもう少し学びたいと思いますが、要するに自分勝手な思いや都合で「せまい」とか「広い」と評価したり、価値判断したりするのはやめようということです。事実を素直に受けとるのです。

そうして持ち前の「智慧」をはたらかせて、澄みわたる秋空のような清々しい気持ちで、他者を思いやる菩薩としての歩みに、お互いさま自信をもってふみだしましょう。

(『佼成』2022年10月号)

Spiritual Journey

仏さまからの贈りものに気づいて

立正佼成会ロンドンセンター

グッビニ・由香理

この体験説法は、2022年7月16日にロンドンセンターで行なわれた「盂蘭盆会式典」で発表されたものです。

皆さまこんにちは。本日はこのような貴重な機会をいただきありがとうございます。私の最近の気づきをお話しさせていただきます。

その前に、私が信仰に出会った若いころのことを簡単にお話しさせていただきます。私は高校生の時、地元の福島県の教会で、初めて立正佼成会の活動に参加しました。同世代の仲間だけでなく、両親や祖父母のような年代のサンガとのふれあいは、とても心地よく、楽しいものでした。そして、様々な活動や勉強会、練成会などを通して、私たちは法華経や根本仏教について学びました。また、法座もすばらしく、日ごろ感じている問題を聴いていただき、ご指導をいただくことができました。日々の生活を通してご法を学べる私はとても恵まれていました。

ある日、世界宗教者平和会議や世界平和に向けた諸活動について書かれた開祖さまのご著書を拝読し、私は深い感動を覚えました。開祖さまのお考えと宗教対話を通じた平和構想について知り、心が湧き立つ思いがしました。

その日以来、私の関心は日本にとどまらず、世界へと広がって行き、異文化の国々、特に欧米でご法がどう生かされているか知りたくてたまらなくなりました。しかし、地方ではそうした情報に接する機会はありません。私は東京のご本部で定期的に行なわれていた英語による法華経の勉強会やジーン・リーヴス博士(立正佼成会国際アドバイザー)の勉強会に参加するようになりました。その後は海外で行なわれた世界宗教者平和会議の国際会議にボランティアとして参加するなど、貴

重な機会に恵まれ、そうした経験を通して私の視野は広がり、たくさんのインスピレーションをいただくことができました。

様々な経験や素晴らしい会員の皆さん、諸宗教の方々との出会いを通して、私のご法への信は深まり、異なる文化や宗教に対する敬意を深めることもできました。宇宙には私たちが「妙法」と呼ぶただ一つの真理が存在すること、そのためご法は世界に通ずるものであることを確信したのです。それから私は、欧米に行ってご法が生かされている様子を見てみたいと強く望むようになりました。そして「諸宗教と協力しながら平和を実現するという開祖さまの平和活動に自分も加わりたい、海外に法の輪を広げていきたい」という願いを持ち、それが私の誓願になりました。

私は結婚を機にイギリスで暮らし始め、今年で20年あまりになります。ありがたいことに、2020年に立正佼成会のロンドンセンターが開所しました。センターができるまで、私たちのサンガは小さいながらも、イギリスでご法の灯を守り続けてきました。



盂蘭盆会式典で説法をするグッビニ・由香理さん
(左から2番目)

2012年に立正佼成会のローマセンターが開所してからは、センター長の水藻克年さんが定期的に訪英され、共にご法を学び実践する機会を増やしてくださいました。それは私たちのサンガにとって非常に大きな励みになりました。今もとても感謝しています。

私は現在、ロンドンセンターの細谷恭一郎センター長さんのご指導のもと、センター初の正式な講座である「法華三部経入門講座」に参加しています。サンガと共に学び、互いの考えを分かち合うことで視野を広げることができる、とても楽しい講座です。そこにはいつも素晴らしい発見があります。

先日、講座に参加しているとき、ふと、20年前に私が願い思い描いていたことが、今現実になっていることに気がつきました。ロンドンセンターが開所して、新しい仲間が増え、法座などのご法活動が活発に行なわれるようになり、ご法の輪がどんどん広がっています。20年前の思いが、今までずっと繋がって現実となっていたことに気づき驚きました。法輪は今、ヨーロッパの国々でも転じています。

私は「開祖さまの平和活動に加わり、海外に法の輪を広げる」という誓願を忘れてはいませんでしたが、生活が徐々に変化する中で、あまり意識することなく過ごしていました。仏さまはそんな私に誓願を思い出させてくださったのです。今、当たり前と感じているこのイギリスの地でのご法活動は、多くの人々の願いと誓願と努力の結果であり、仏さまは私たちをずっと見守り、導いてくださったのです。私たちはいつもたくさんの贈りものを仏さまからいただいています。今ここにあるもの、日々の出来事、当たり前にあるように見えるものは、それ自体が仏さまからの贈りものであって、そこには幸せにつながるメッセージが詰まっています。近づいてよく見ると、たくさんのメッセージが詰まっていることがわかります。

「法華三部経入門講座」では、今週「法師品第十」を学びました。今回も素晴らしい発見がありました。それは、法華経の一句一偈を聞いて随喜したならば、その一念が成仏の種になるという教えです。仏の種は成長してやがて美しい花を咲かせます。そのためには、菩薩行を通して水や栄養を欠かさずに与えることが必要です。そして、私たちが菩薩行の第一歩を踏み出すには、そのきっかけとなる初随喜が大切であることに気づいたのです。

そして、なにより大切なのは、教えを長い間繰り返して実践し、仏の種を成長させていくことです。法華経には菩薩の修行がとても長い間続くことが書かれています。

「法師品第十」の学びを通して、私は20年前に立てた誓願を再認識することができました。そして、開祖さまのご著書を読んだ時の感激が、仏の種となって私の中で育っていたことに気づいたのです。これまでの人生を振り返ると、誓願の実現への道のりはあまりに遠いと感じたこともありましたが、しかし、遠回りであっても正しい道を歩んでいたのだと思いました。過去の自分と今の自分は繋がっていて、仏さまはいつも私を見守り導いてくださったのです。仏さまに応援していただきながら、これまで正しい道を進んでこられたことに気づき、私の心は嬉しさでいっぱいになりました。

イタリア人の夫と結婚してイギリスに移住し、私は二人の息子の母親になりました。生活はとても忙しくなり、ライフスタイルはすっかり変化しました。何度か人生の浮き沈みを経験し、たくさんの幸せをいただいた一方で、数年間、病気や気分の落ち込みで苦しんだこともあり、社会とのつながりを失い、何も社会貢献のできない自分には価値がないのではと思い始めた時期もありました。自分はダメだ、まだ努力が足りないと、自分

Spiritual Journey

自身を責めることもたびたびでした。体にも心にも痛みを感じたつらい時期でした。

しかし今は、これらのすべての経験や、人生のステップの一つ一つが、私の財産だと思えるようになりました。時には小さなステップに過ぎなくても、当時の自分はベストを尽くしたのだから自分を責める必要はないのだと納得できるようになりました。私を責めていたのは仏さまではなく、また他の誰でもない自分自身でした。どんな時も優しい言葉をかけてくださる人がいたのですが、私はその言葉を真心で受け入れることができないでいたのです。

久遠のご本仏さまは常に私たちを正しい道に導いてくださっています。以前の私はまさに「信解品第四」の「長者窮子の譬え」の窮子のようでした。法華経では、私たちは人々を救うため自ら願ってこの世に生まれてきたと教えていただいています。自分の人生をどう生きたいかと問われても、よくわからないと思う時もあるかもしれませんが。しかし私たちの心、私たちの仏性はいつもそれを知っていて、覚えているのです。仏さまは毎日、どんな時も、私たちにたくさんのメッセージを送ってくださっています。それに気づくか気づかないかは、私たちのものの見方次第です。しかし、日々あまりにも多くの出来事に追われ、私たちの心は混乱し、仏さまのメッセージに気づけないでいるのです。

毎日のご供養と瞑想は、心の曇りをなくすための大切な修行です。そこでは、どのように物事や現象を見るかが鍵になります。困難に出会ったとき、私は自分のものの見方のせいで、つらく暗い日々を送っていました。しかし物事や現象に隠された仏さまのメッセージに気付くと、困難な出来事は貴重な学びの経験になります。つらい経験を宝にできるかどうかは、すべて自分次第なのです。

私には相手の仏性は見えても、自分の仏性に気づけないことが時々あります。自分自身の本当の心の声に耳を傾け、内なる仏性を認めることが大切です。仏さまは私たちに評価を下したりせず、慈悲の心で私たちのあるがままの姿を見てくださっています。ですから、内省は大切ですが、自分を評価したり批判したりする必要はないのです。

相手の仏性を礼拝するように、自分の仏性を礼拝する。仏の種を育み、仏性を育む。そのことを、私はこれまでの人生で忘れていたのです。

自分が幸せならば、周りの人も幸せになり、社会が幸せになり、それは世界平和につながります。私たちにできる一つ一つの小さなことが世界を変えていくのです。私は自分の本当の心を見つめ、仏さまからのメッセージを素直に受け取り、いつでもどこにいても、自分に与えられた役割を果たしていくつもりです。

最後に、これまで人生を通して私を支えてくださったサンガの皆さんと家族に対し、心から感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。



ロンドンセンターのサンガの皆さんと

まんが 立正佼成会入門

お釈迦さまの生涯と仏教の教え

お釈迦さまの十大弟子②

天眼通てんげんつうといって、あらゆるものを見通す力をもっていた阿那律あなりつ。優婆離うぼりは戒律をよく守り、お釈迦さま入滅のあとに開かれた「經典編纂会議きょうてん へんさん かいぎ」で重要な役割をにないました。

また、阿難あなんはお釈迦さまにつかえた世話係で、説法をたくさん聞いたので多聞第一たもんたいいちといわれました。お釈迦さまの実の子・羅睺羅らごら みつぎょうたいいちは密行第一といわれ、教えをかげひなたなく実践しました。摩訶迦葉まかかしょう ずだぎょうは頭陀行という厳しい修行をした弟子で、お釈迦さまから衣を授けられました。



豆知識

「天眼通てんげんつう」とは神通力の一つで、物質的なものだけでなく、過去・現在・未来までをも見通す能力のこと。「多聞」は、お釈迦さまの教えをたくさん聞いて理解しているという意味。

※私的使用を除き、無断で複製・転載をしないでください。



『まんが立正佼成会入門』は、佼成ショップにて好評発売中です。
<https://www.koseishop.com/>

この世は「縁起」でなりたつ



お釈迦さまは、病気や死への不安を解決する方法を探し求めて出家し、修行を続けた結果、さとりを獲得されました。そのさとりは「縁起^{えんぎ}」といわれるものです。

縁起というのは「すべてのものごとは、ある原因(因)が、ある条件(縁)に出合うことによって生じる(果)」ということです。

たとえば、花の種は、水や土、太陽の光などの条件がそろってはじめて芽を出します。また、花が咲いたところに虫たちがやってきて、受粉するから実がなるのです。

逆に、花の種があっても条件がそろわなければ芽は出ないし、受粉されなければ実はなりません。

これと同じように、私たちの不安や苦悩にも必ず原因と条件があります。そして、それらの原因あるいは条件を取り去ることで、不安や苦悩を生じなくすることができるかと教えているのです。

お釈迦さまが教えてくださったこの「縁起」を正しく理解して、しっかりと身につけることができれば、私たちはつねに安らかな心でいられます。

Director's Column

無立場のすすめ

国際伝道部長

赤川 恵一

「部長コラム」の読者の皆さん、こんにちは。忙しい現代社会に生きる私たちには、一日の中で一瞬でも日常の激流から離れ、立ち止まって冷静な思考の時間をもつことが大切です。このコラムでも皆さんに考えるヒントをご提供できたら、これに勝るものはありません。

さて、今月にご法話をとおし、六波羅蜜最後の徳目であります「智慧」を学びます。「苦悩を生むもとを知る」というテーマは、私たちが「苦の原因とは何か」という問いに導きます。仏教における「苦」とは、「思い通りに行かないことから生じる心の状態」を意味します。ご法を知らぬ凡夫は、自分勝手な思いや都合から、自分の思い通りにしようとするわがままな心を暴走させ、やがては自分を苦しめる結果を招いてしまうという、智慧とはかけ離れた状態に流されてしまいがちです。

法華経によれば、観るとは「ありのままに観る」ことであり、「無評価で観る」「無立場で観る」ことなのだ、かつて会長先生が仰っていたのが思い出されます。「苦悩を生むもと」は暴走する自己中心な心と知って、「持ち前の『智慧』をはたらかせて」まいりましょう。

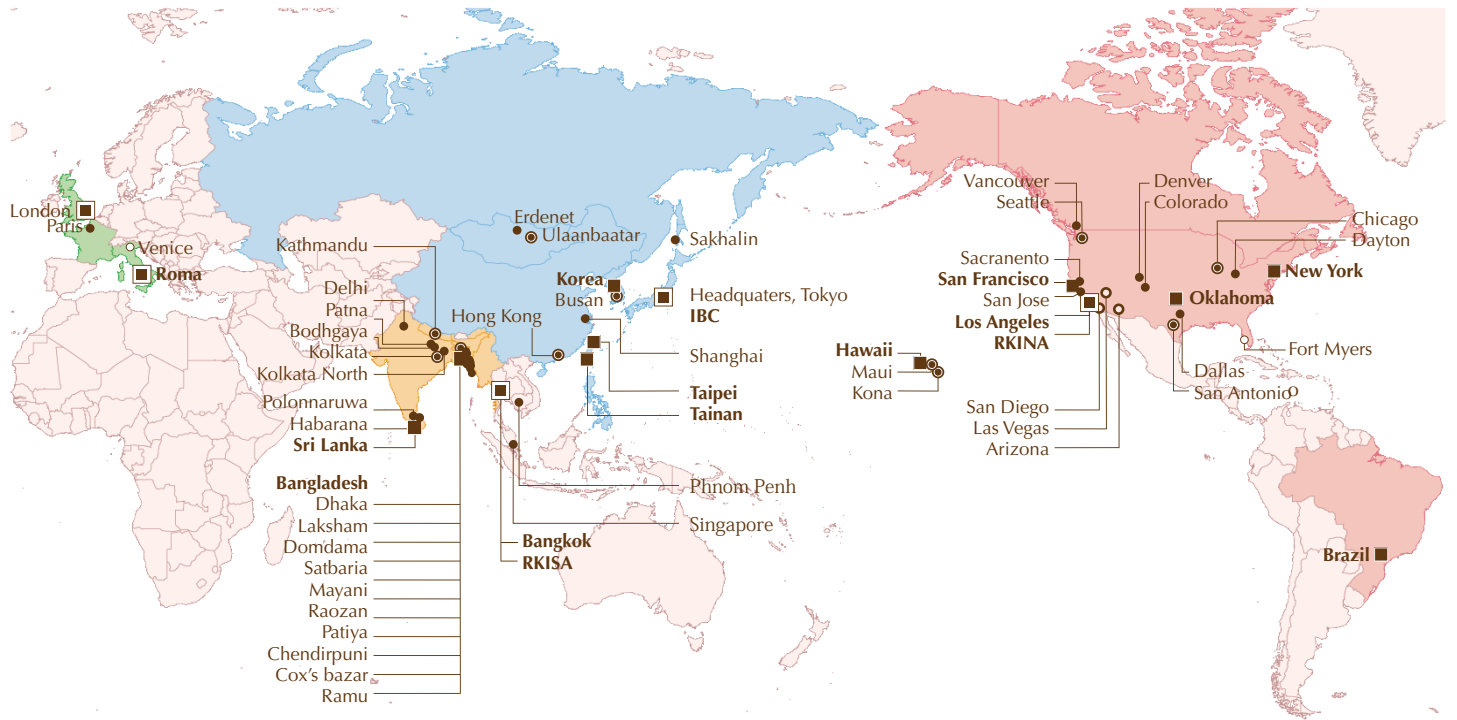


✉ Living the Lotus では、皆さんのご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA
 TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633
 Email: sangha@rkhawaii.org URL: <https://rkhawaii.org>

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1809 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA
 TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA
 TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA
 TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567
 Email: info@rk-la.org URL: <https://www.rk-la.org>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas**

Rissho Kosei-kai of San Francisco

(Address) 1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA
 (Mail) POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA
 TEL: 1-650-359-6951 Email: lotusbuddhist@gmail.com
 URL: <https://sf-buddhism.org>

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

Rissho Kosei-kai of Sacramento

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA
 TEL: 1-212-867-5677 Email: rkny39@gmail.com URL: <https://rk-ny.org>

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA
 TEL: 1-773-842-5654
 Email: rkchicago@rkchi.org URL: <http://rkchi.org>

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

Email: rkftmyersbuddhism@gmail.com URL: <https://rkftmyersbuddhism.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

(Address) 2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA
 (Mail) POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA
 TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303
 Email: dharmacenter@rkok-dharmacenter.org
 URL: <https://rkok-dharmacenter.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago St. #809, Denver, CO 80204, USA
 TEL: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA
 URL: <http://www.rkina-dayton.com>

The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA
 TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-269-4567
 Email: info@rkina.org
 URL: <https://www.buddhistcenter-rkina.org>

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA
 (Mail) POBox 692148, San Antonio, TX 78249, USA
 TEL: 1-210-558-4430 FAX: 1-210-696-7745
 Email: dharmasa@rksabuddhistcenter.org
 URL: <https://rksabuddhistcenter.org>

Rissho Kosei-kai of Seattle

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA
 TEL: 1-253-945-0024 Email: rkseattlewashington@gmail.com
 URL: <https://www.buddhistlearningcenter.org>

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil
 TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377
 Email: risho@rkk.org.br URL: <http://rkk.org.br>
 Facebook: <https://www.facebook.com/rishokosseikaidobrasil>
 Instagram: <https://www.instagram.com/rkkbrasil>

在家佛教韓國立正佼成會 Korean Rissho Kosei-kai
〒 04420 大韓民國 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

在家佛教韓國立正佼成會釜山支部

Korean Rissho Kosei-kai of Busan
〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

社團法人在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Taipei
台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongheng District, Taipei City 100, Taiwan
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

台南市在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Tainan
台灣台南市東區崇明 23 街 45 號
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488
Email: koseikaitainan@gmail.com

Rissho Kosei-kai South Asia Division

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8141

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai Society of Kolkata

89 Srirampur Road (VIP), Garia, Kolkata 700084, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya

Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rampur, Gaya-823001,
Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Patna

Please contact Rissho Kosei-kai Society of Kolkata

Rissho Kosei-kai of Delhi

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,
New Delhi 110060, India

Rissho Kosei-kai of Singapore

Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh

W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,
Phnom Penh, Cambodia

Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8141

Rissho Kosei-kai of Bangkok

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8216 Email: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei Dhamma Foundation

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa

Please contact Rissho Kosei Dhamma Foundation

Rissho Kosei-kai Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
TEL: 880-2-41360470

Rissho Kosei-kai Mayani

Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Damdama

Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Satbaria

Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Chendhirpuni

Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai Raozan

Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Laksham

Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Dhaka North

Bashundhara R/A, Dhaka, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Cox's Bazar

Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Please contact Rissho Kosei-kai Bangladesh

Rissho Kosei-kai Patiya

Rissho Kosei-kai Ramu

Rissho Kosei-kai Aburkhil

Buddiyskiy khram "Lotos"

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia
TEL: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai

Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoro-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia

(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia
TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Erdenet

Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Please contact Rissho Kosei-kai di Roma

Rissho Kosei-kai di Venezia

Rissho Kosei-kai of Paris

Rissho Kosei-kai of the UK

29 Ashbourne Road, London W5 3ED, UK
TEL: 44-20-8933-3247 Email: info@rkuk.org URL: <https://www.rkuk.org>
Facebook: <https://www.facebook.com/rkuk.official>
Twitter: https://twitter.com/rkuk_official
Instagram: https://www.instagram.com/rkuk_official
YouTube: https://www.youtube.com/c/rkuk_official

Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)

〒 166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: <https://www.ibt-rk.org>